

## 19. 令和5年度京都府てんかん地域診療連携体制整備事業：

### 拠点病院からの活動報告

京都大学医学部附属病院 てんかん診療支援センター  
センター長 池田 昭夫  
てんかん診療支援コーディネーター 高谷 美和  
運営委員 松橋 眞生

#### 1) 概要

京都府では2022年12月1日付で京都大学医学部附属病院がてんかん支援拠点病院の指定を受けた。京都大学医学部附属病院と京都府立医科大学附属病院、京都府医師会を中心とした医療機関と行政が連携し、府内のてんかん診療の均てん化と標準化に向けて取り組んでいる。本年度は新たな取り組みとしててんかん治療医療連携協議会の委員を拡充し、一般向け公開講座を企画している。

#### 2) 診療実績

京都大学医学部附属病院では、てんかん患者様への包括的な医療・福祉支援を目的として2018年11月にてんかん診療支援センターを設置した。関連する診療科、看護部、検査部、事務部による運営委員会を定期的に開催し方策を協議している。

てんかんの専門外来の体制（2024年2月現在）

	月	火	水	木	金
小児科	横山 淳史 吉田 健司			横山 淳史	吉田 健司
脳神経内科	池田 昭夫 小林 勝哉	人見 健文（隔週）	小林 勝哉（隔週）	池田 昭夫（午前） 戸島 麻耶	下竹 昭寛 松橋 眞生（隔週）
脳神経外科	菊池 隆幸		菊池 隆幸		
精神科神経科				植野 司（午前）	

※精神神経科医師による診察は、脳神経外科診察室での神経心理外来枠にて提供している。

#### 2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の診療実績

てんかん外来新患数：小児科 30 例/年 成人科 180 例/年

てんかん入院患者数：小児科 60 例/年 成人科 103 例/年

長時間ビデオ脳波モニタリング施行数：小児科 82 例/年 成人科 34 例/年

てんかん外科手術：13 例/年

#### 3) コーディネーターによるてんかん相談実績（2023年4月～2024年1月）

毎週月/火/木/金曜日の10-14時にコーディネーター（2024年2月現在、非常勤医医師が担当）による相談窓口を設置している。

相談者について（のべ件数）

	本人	家族	医療機関	関係機関	合計
対面	7	4	0	0	11
電話	11	29	3	1	44
合計	18	33	3	1	55

相談内容（のべ件数）

受診先	17
診断・治療に関する一般的な内容	15
福祉制度	11
就労	5
妊娠・出産	5
運転免許	3
その他	3

#### 4) てんかん治療医療連携協議会

2023年5月、12月に委員の中心となる機関である京都府健康福祉部、精神保健福祉センター、てんかん協会、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院の関係者が参加し協議会運営委員会を開催。具体的な活動内容の検討を行った。

さらに、警察や教育、就労関係機関を含めて委員の選出を行い、2月29日には協議会本会議を開催予定である。

#### 5) 教育・啓発活動

##### (1) 一般の方を対象とした教育・啓発活動

3月10日にオンラインで一般向けの公開講座を予定している。今回は、「てんかんとはどのような病気か?」、「高齢者てんかん」、「てんかんと運転免許」の3つのテーマを取り上げる。(添付資料1)

##### (2) 医療関係者を対象とした教育・啓発活動

###### ① 定例カンファレンス

病院内外の医療関係者を対象に、月1回の脳機能てんかんカンファレンス(京都府内及び隣接府県の多くの病院・診療科連携の症例検討会)、週1回の脳波判読会(院内、京都府内、全国の都道府県の医師を対象)をオンラインで実施している。

###### ② 京都てんかん診療講演会

2023年3月9日に、第2回京都てんかん診療講演会「てんかん地域診療連携体制整備事業の開始にあたって」を開催した。京都府、一般社団法人京都府医師会、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院が主催し、当日はオンラインで180名が参加した。講演・パネルディスカッションではてんかんを専門としない医師がてんかん診療をする際に、日常的な相談相手がないという問題が提起された。

第3回は、2024年3月21日に「てんかんと多職種連携」をテーマに開催する。てんかん診療支援コーディネーター、看護師、薬剤師、京都府障害者支援課および就労支援センターの担当者による講演とパネルディスカッションを予定している。(添付資料2)

##### (3) 啓発資料の提供

京都大学病院てんかん診療支援センターでは、添付のように、院内だけではなく、広く京大病院だけでなく外部のてんかん患者さん及び他施設の診療医、medical staffへの啓発資料、医療関係者への臨床で利用できる資料(45種類)を、PDFでダウンロードできるように提供している。(著作権がある資料は全て本利用のために許可を取得済み) [http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/supportcenter\\_j/information](http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/supportcenter_j/information)

#### 6) 課題と今後の予定

京都府では、医療圏によるてんかん三次診療が可能な専門機関への受診率の偏りが課題となっている。てんかん診療講演会で提起された問題をもとに、地域かかりつけ医と専門機関との情報共有・連携を円滑に進められるよう様々な枠組みでの対応を検討している。一例として、てんかん診療地域連携事業とは別の枠組みとは異なるが、企業との協力のもと非専門医向けの講演と相談セッションを設けた「てんかん診療STEP UP」を行った。整備事業としては、他施設合同カンファレンスへの参加施設の拡充、てんかん相談窓口の有効利用、京都大学医学部附属病院での遠隔脳波診断、遠隔診療の提供に向けて準備を進めている。

## 資料 1

### 京都府てんかん地域診療連携体制整備事業

てんかんって  
どんな病気？

高齢者てんかん  
って何？

てんかんでも  
運転できるの？

## 第1回 てんかんに関する 府民公開講座

～てんかんを正しく知ろう～

てんかん  
って何？

てんかんは赤ちゃんから高齢者まで誰でも罹患する可能性があり、その頻度はおよそ100人に1人といわれています。一般の方に、てんかんを正しく理解できるよう、専門の医師が解説します。

日時 2024年3月10日(日)  
13:00～14:00

開催  
形式 オンライン  
Zoomウェビナー



左のQRコードまたは以下URLよりお申し込みいただけます  
後日、ご参加用リンクを送付いたします  
事前登録：<https://u.kyoto-u.jp/r1dnr>  
締切 3月7日(木)

共催：京都府、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院  
後援：京都府医師会、日本てんかん協会京都支部  
[プログラム・詳細は裏面をご覧ください](#)

## 資料 2

### オンラインセミナー 京都府てんかん地域診療連携体制整備事業

## 第3回てんかん診療講演会 「てんかんをみんなで支える社会へ」

京都府のてんかん地域診療連携体制整備事業として、毎年開催させていただいております本講演会も3回目となりました。今年度につきましても、京都府下におけるてんかん診療の啓発、標準化、均てん化を推し進めるべく、令和6年3月に開催したいと存じます。

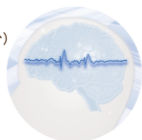
日時 3/21(木) 18:00～20:00

定員 オンライン (zoomウェビナー)

対象 府内でてんかん診療に関わる可能性のある  
全ての医療関係者・医療系学生

テーマ てんかんと多職種連携  
第1部：講演 (80分)  
第2部：パネルディスカッション (30分)  
※プログラム詳細は裏面をご確認ください

共催 京都府  
京都府医師会  
京都府立医科大学附属病院  
京都大学医学部附属病院



左のQRコードまたは以下URLよりお申し込みいただけます  
後日、ご参加用リンクを送付いたします  
事前登録：<https://u.kyoto-u.jp/y287y>  
締切 3月18日(月)

本講演会では、日本医師会生涯教育講座の単位が付与されます

第1部：13 医療と介護および福祉の連携 1.0単位

第2部：13 医療と介護および福祉の連携 0.5単位